

クロマグロ用初期飼料開発 ～孵化仔魚の給与を必要としない種苗生産の確立へ～

日本農産工業株式会社（本社：神奈川県横浜市／代表取締役 社長執行役員：岡本康治／以下「弊社」）は、孵化仔魚を給与せず配合飼料のみでクロマグロ種苗の沖だしサイズまでの育成に成功しましたのでお知らせ致します。

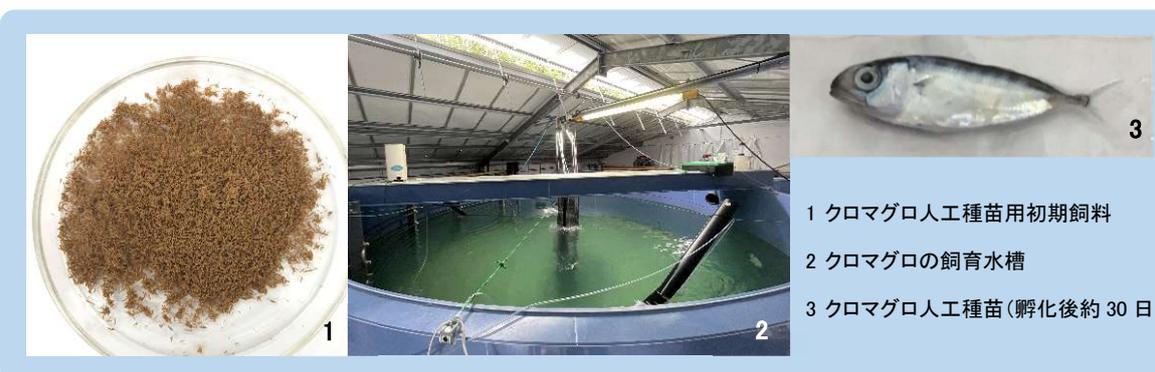
■概要

クロマグロ養殖生産量のうち人工種苗由来は約 17%程度※ですが、安定的な人工種苗の生産に向けた課題は多い状況です。卵から孵化したクロマグロには初期段階にワムシなどの動物プランクトンを与えた後に、イシダイやハマフエフキなどの孵化仔魚（以下「餌料用仔魚」）を給与しますが、この仔魚用の親魚確保や飼育・産卵のための環境制御に莫大な労力とコストを必要としています。また、必要な餌料用仔魚量を確保できない場合には、クロマグロ仔魚間の激しい共食いや飢えによる大量斃死が生じてしまいます。こういったことからクロマグロの種苗生産にとって餌料用仔魚の確保は大きな制約条件となっています。

これまで弊社は、餌料用仔魚の給与量削減を検討するために長年にわたって飼育試験を実施してきました。この度これまで蓄積した研究成果からクロマグロ種苗が摂取・嚥下しやすい柔らかさと形状を兼ね備えた配合飼料を開発するとともに、最適な餌付けパターンを組み合わせることで、餌料用仔魚を給与することなく配合飼料のみで約 5 cmの稚魚まで育てることができるという結果を得ました。今後は安定した種苗生産の確立に向け普及を進めていきたいと考えております。

（※出典：水産庁、「令和2年における国内のクロマグロ養殖実績について（速報値）」

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/saibai/210331.html>, (参照 2021.10.28))



【本件に関する問い合わせ先】

日本農産工業株式会社 経営企画部

TEL: 045-224-3717

FAX: 045-224-3721

Email: info@nosan.co.jp